



専門職としてのあり方を深く認識し、創意くふうを加えて研究的に教育実践を進めることがなりも必要ではないでしょうか。

本号では、このような意味で、研究・実践に取り組んでこられた教師の優れた研究論文と実践記録を紹介しましたので、参考にしていただきたい。